平成25年度予算見積調書

課室名:生涯学習文化財課 相当名:生涯学習推進相当

内線: 6920

(単位:千円)

番号 説明事業 事業名 項 Ħ 会計 款 一般会 教育費 社会教 社会教育振興 生涯学習推准事業費 元気な地域を創造する子ども大学推進事業 **B99** 育費 根 拠 教育基本法第3条・第13条、社会教育法第5条、生涯学習振興 戦略項目 事 業 平成23年度~ 平成28年度 | 法 令 | 法第3条 期間 分野施策 | 020106 家庭・地域の教育力の向上と生涯を通じた多様な学習活動の振興 1 事業の概要 5 事業説明 近年、学力調査の国際比較結果やフリーター・ニート (1) 事業内容 の増加など、学習意欲や就労意欲の低い青少年の増加が ア 子ども大学推進事業 (ア) 開校事業 平成25年度23校開校予定 5.510千円 社会問題となっている。また、子供を地域で育てるとい 県内各地に子ども大学を開校する。 う仕組みや意識が薄れてきている。一方、生涯学習社会 (イ) 交流・連携事業 複数の子ども大学が連携しミニ社会体験活動などを通じ交流を行う。 の実現に向け、学びのきっかけづくりや学んだ成果の活 (2) 事業計画 用が課題となっている。 そこで、子ども大学推進事業を実施することにより ア 子供を核として県内の大学、市町村、NPOなどがネットワーク化を図り「知の循環型社会」の構築を目指す。 子供の学ぶ力や生きる力を育むとともに地域の活性化を イ 子供を対象に、大学教授や地域のプロフェッショナルが大学のキャンパス等で、子供の知的好奇心を刺激する 図る。さらに、学びの場を提供するなど課題解決を目指 講義や体験活動を行う。 し、埼玉県の生涯学習を推進する。 ウ 複数の子ども大学の子供たちがミニ社会体験活動などを行い、互いに交流する機会を提供する。 (1) 子ども大学推進事業 (大学・地域の施設・げんきプラザ) 5,510千円 (3) 事業効果 大学や市町村、NPOなどが連携して実施する子ども大学を展開することにより、子供の知的好奇心を刺激し、 学ぶ力や生きる力を育むとともに、新たなネットワークの構築を推進することができる。 平成22年度: 6校開校 255人修了 (6大学、9団体、6市で開校。他に独自校3市町で1校。試行的に実施。) (16大学・短大、25団体、23市町で開校。他に独自校が4市町で2校。) 平成23年度:14校開校 674人修了 平成24年度:19校開校1,068人修了予定(26大学・短大、29団体、33市町で開校。他に独自校が5市町で3校。) 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大学・短期大学、市町村、NPOなどが連携し実行委員会を組織し、子ども大学の企画・運営を行う。 (5) その他 【前年度からの変更点】 3 地方財政措置の状況 ア 平成25年度は新規校4校、県内23校で子ども大学を開校予定。 平成24年度の補助実績をもとに、平成25年度の補助金の積算を見直した。 なし ウ 学び成果活用事業と発表・交流事業を統合し、交流・連携事業とした。 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円 財 源 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 決定額 5, 510 5,510 $\triangle 640$ 前年額 6, 150 6, 150